









左からBRP社マーク・アンドレ デュボア氏、フランソア トレンブレイ氏、BRPジャパン 代表取締役 日本代表 髙山 浩史氏、歌舞伎俳優 中村獅童氏。









新製品のCan-Am Spyder F3-Sはよりスポーティ・ -な外観で、重心も低くアクティブな走りが楽しめる。スチールブラックメタリックも実にクールな外観だ。









普通免許でこれだけのクオリティなものに乗れてしまう手軽さと、操作性の良さ、乗り心地の快適さ、走行時の高い安定感がスパイダーの魅力なのかもしれない。

発売以降その斬新なスタイルと快適な乗り心地で大きな話題を集め たCan-Am Spyder(カンナムスパイダー)。その日本第二弾モデルが ついに発表された。今回取材した『Can-Am Spyder F3』は低重心か ら繰り出されるトルクフルな走り、体格に応じて調整可能なライディン グポジション、高度な電子デバイスが頭脳としてサポートする快適な乗 り心地を楽しむことが出来る。まさに今まで感じたことの無い『新しい 試乗して見て欲しい。新しい感覚が一気に全身を駆け抜けるだろう。

乗り物、新しい世界』が体感出来る仕様だ。例えば雄大な海の景色が隣 に広がる場所で、思いっきり風と開放感を感じながらマシンを走らせれ ば、ライダーに最高に贅沢な時間を提供してくれることだろう。他にも 仲間とのツーリングで遠出しても面白い。あらゆるシーンでライダー達 に新鮮さと走る楽しさを体感させてくれる乗り物だ。是非1度で自身で